

建設会社の新入社員の方々がバリアフリー体験に来られました。 (平成26年7月25日)

金秀グループ建設関連会社の新入社員の方々が高齢者疑似体験、車椅子体験、白杖体験を行いました。

公共工事などの社会資本整備やビル・工場・マンション等の民間工事に携わる立場として、体に障害を持った人の大変さなど総合的な知識を体得して頂きました。

1. 開催日 平成26年7月25日(金) 14:00~16:00
2. 会場 関東技術事務所構内
3. 体験者 金秀建設(株)、金秀鋼材(株)、金秀アルミ工業(株)、金秀鉄工(株) 6人
4. 体験内容 高齢者疑似体験、車椅子体験、白杖体験

【高齢者疑似体験】

白内障メガネ、耳栓、重り、サポータ固定により、80歳の老人になった状態を再現し「見る」、「書く」、「階段の昇降」、「買い物」といった日常生活でありがちな体験をしてもらいました。



色を見比べる

- ・黄色と白の色の見分けがつかない
- ・同系色の見分けがつきにくい



アンケートを書く

白内障・老眼メガネでほとんど見えない



階段の昇降



自動販売機による買い物

【車椅子体験】

車椅子でバリアフリー歩道と障害のある歩道を比べ足の不自由な人の体験をして頂きました。



【白杖体験】

アイマスクと白杖でバリアフリー歩道と障害のある歩道を歩き比べ目の不自由な人の体験をして頂きました。



バリアフリー歩道は誘導ブロックをたよりに自力で歩く体験



障がいのある歩道は、補助者の「声」と「肩に手を添え」での誘導により歩き、補助者の声のかけ方、誘導の仕方を体験

体験者の感想：

- ・高齢者疑似体験では、思っていた以上に体が不自由で生活上の支障が多く、細かい点にも目配りが必要でそこに自分が気付ける様になりたいと思った。
- ・お金の見分けや色の区別がしにくくて大変であると感じた。
- ・車椅子体験では、わずかな段差、勾配でも車椅子の方には大きな障害(危険)であることが分かった。
- ・白杖体験では、(目隠しする前に)歩いた道でも前に何かあるのではという恐怖心と杖と足の感覚だけで点字ブロックを歩くのは難しいと感じた。